

SERVICE NEWS

FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

~~TOP SECRET~~ APPROVED

NO. 200-028 DATE 平成 25 年 12 月 3 日 (SUPERSEDES NO.)
REV. DATE (SUPERSEDES NO.)
REASON

FA-200-160 型及び-180 型 チェックバルブの取付要領について

平成 25 年 9 月 23 日に発生した FA-200-160 型の不時着事故調査の過程で燃料系統チェックバルブの不適切な取付けが発見され、平成 25 年 10 月 29 日に国土交通省運輸安全委員会より、情報提供のための安全情報が発行されました。

チェックバルブの取付け指示は、サービスマニュアルで“注意”事項として記載していますので、この指示を確認して下さい。

取付け不良を発見した場合には、サービスマニュアルに従った取付け状態に修正して下さい。また、富士重工に連絡(*1)をお願いします。

(*1) : 富士重工業(株) 生産技術部 修理改造技術課 中田 明夫
e-mail : nakada.akio@subaru-fhi.co.jp

- ・安全情報概要 (詳細は、国土交通省運輸安全委員会の HP(*2)を確認下さい。) サンプタンク部に取付けられているチェックバルブ (主翼燃料タンクとサンプタンク間の配管部) の取付けが本来の指示 (「HINGE」表示が上側) から 90~120° 程度回転した状態で取付けられていた。

(*2) : www.mlit.go.jp/jtsb/iken-teikyo/JA349220131029.pdf

- ・サービスマニュアル記載内容
サービスマニュアル 6-5-2 項 (6-14 頁) に下記の注意を記載しています。

注意

#100 号機までの機体の燃料入口に取り付けられているチェック・バルブは「HINGE」と表示されている側を上側にして取り付ける。

当該チェックバルブは内部にスイング式の弁があり、HINGE 部を上に向けるように設計しております。

なお、本安全情報は、事故調査の過程で発見された不適切事象に関して情報提供されたものであり、事故原因との関連は引き続き調査されております。